


















カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001の運用を軸に環境マネジメントシステムを展開し、継続的な改善を行っている				3.9			6	7									12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ホームページで「SDGsへの貢献」としてデジタル・オンデマンドプリントへの取組や環境に優しいインク情報の発信に取り組んでいる																		12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・当社グループの国内主要事業所においては、1部賃貸物件を除き、実施的に再生可能エネルギー100%に切り替え実施済 ・本社地区（東御市）：太陽光発電設備を設置を推進する								7.2											13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・梱包材の軽量化、削減に取り組んでいる																			12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・毎年1回、全社員を対象に「コンプライアンス宣誓書」を提出させ、汚職贈収賄防止に対する役職員の意識を高めている ・監査室が内部監査を行っており、月次で関係取締役へ報告し、不備がある場合は改善指示を出している																						16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・毎年1回、全社員を対象に「コンプライアンス宣誓書」を提出させ、公正な競争に対する役職員の意識を高めている																							16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等、知的財産権の取得および管理をしている ・開発製品が他社の知的財産への抵触が無いことを確認するプロセスを設けている ・毎年1回、全社員を対象に「コンプライアンス宣誓書」を提出させ、知的財産保護に対する役職員の意識を高めている										8.2	9														
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・業務利用するPCやファイルサーバー、各種システムにおいて適切な権限設定を行い、アクセス管理を実施している 定期モニタリングや社内周知を継続的に実施している ・毎年1回、全社員を対象に「コンプライアンス宣誓書」を提出させ、守秘義務に対する役職員の意識を高めるとともに、社内規定に「情報管理・取扱いのルール」を定め、社員の行動指針としている。																								16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】・自社製品について紛争鉱物（すず・タングステン・金）調査を実施し、取り扱っていないことを確認する																								16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・禁止物質を制限した調達を行い、生物多様性や生態系への悪影響防止に取り組んでいる ・サプライヤーと反社会勢力の排除等倫理面の適切な対応に取り組んでいる（新規採用ウラヤについては反社会勢力との関係がないことを事前に確認し採用、また反社会勢力の排除は取引基本契約書に盛り込み契約を締結）						5					8		10							12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・過去トラを使用して製品のリスクを抑えていると同時に、開発評価とは別の第3者評価を実施して顧客使用の観点より評価を行い安全性を確保している				3.9																12.4					
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・製品開発ステップに順じてゲートを設定し、設計審査会議で各部門の承認を得なければ次の開発ステップに進めないルールを運用し、品質の安定に努めている																							9		
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境負荷を軽減するデジタル・オンデマンド生産をインクジェット技術でサポートしている ・環境負荷を軽減する水性インク等を開発・製造・販売している ・梱包材・間材を削減した（当社従来機種比）設計・製品の開発に取り組んでいる							6													12	13	14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・プリント工程を自動化・省力化できる前後装置等の製品の開発・製造・販売している									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

No.	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域への感謝と企業周知を目的とした活動（ミマキまつり）、当社3Dプリンタによる上田城跡地形／南樞の模型の上田市への寄贈、各種イベント等の地域活性化事業への協賛等）を行う ・昼食時間帯には、地域の飲食店・物販業者が食べ物を販売できる				4							9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域社会への貢献活動に本社レベルで取り組み、地域行事への積極的参加を図っている ・地域貢献に資するスポーツ振興として、地域のサッカーチームへ協賛をしている ・基金設立により、教育・研究環境・修学支援の地域貢献活動（ミマキスカラシップ） 【予定】・「にぎやかな森プロジェクト」への協賛による地域支援活動				4										11				14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・昼食時間帯には、地域の飲食店・物販業者が食べ物を販売できる態勢を作っている ・地域への感謝と企業周知を目的とした活動（ミマキまつり）では、地域の飲食・物販事業者に出展してもらっている								8	9					11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・新・中長期成長戦略「Mimaki V10」を掲げ、2025年度までに営業利益率10%の達成に向けた方針を明確にしている ・経営理念および年度の経営目標を各種会議で周知している											8	9										17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・毎年1回、全社員を対象に「コンプライアンス宣誓書」を提出させ、法令遵守に対する従業員の意識を高めている ・コンプライアンスは、社内教育（会議・研修・eラーニング、通達等）、外部セミナー参加を通じ、各部門への周知を行っている																						16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・SDGs推進室を組織し、社内関係部門と連携して全社取組みを推進している																						16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・専門部署としてIR部を設置し、株主との積極的な対話に向けた整備と取組みを推進している ・投資家に対して、半期毎（年2回）に決算説明会を開催、四半期毎にスモールミーティングや投資家訪問を行うほか、適時取材を受けている																				16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・監査室を設置し、業務の適正を確保するために、監査計画に基づいて内部監査を実施している ・内部統制活動に基づき、業務の適正を検証し、リスクのマネジメントとコントロールについての検討および評価をしている																						16
40		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・コンプライアンス教育の中で、社員一人ひとりの自覚を促している ・経営理念の周知を通じて、社会的責任の意識の徹底を図っている																						16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・非常事態対策本部の設置ルール、安否確認システムの導入、対策マニュアルの整備ができています ・事業継続計画（BCP）の充実、運用の取り組みを推進する									9					11		13	13.1					16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】・今後対応方法を検討								8	9													17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）